

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成29年度高松市人権施策推進懇談会（第1回）
開催日時	平成29年7月12日(木) 午前10時～
開催場所	高松市役所 4階 会議室
議 題	(1) 人権教育・啓発に係る施策の推進状況について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	喜岡会長、松本副会長、綾田委員、石川委員、石田委員 石原博委員、大西委員、葛西委員、城門委員、姜委員 齋藤委員、PAGE T.委員、平峯委員、福井委員、 山下委員、山本委員（欠席2名）
傍 聴 者	0人（定員5人）
担当課及び 連絡先	市民政策局 人権啓発課（Tel839-2292）

会議経過及び会議結果

【会議の経過】

議題（1）会長・副会長の選任について

事務局より選任方法説明

【委 員】

委員からの推薦により、会長には喜岡委員を選任。喜岡会長の指名により副会長に松本委員就任。

議題（2）「高松市人権教育・啓発に関する基本指針」に係る施策の推進状況について

事務局より提案趣旨及び資料内容説明

委員からの質問・意見

【委 員】

今回は62事業であったものが、2事業終了と記され、60事業になっているのはなぜか？

【事務局】

事業のうち、平成28年度が完了年度であったものや、同様の事業を複数課で行っていたために、事業を整理・統合したものがあつたため2事業を事業終了と表したものである。

【委 員】

事業終了との表現はマイナスのイメージにとられる可能性もあるので、整理・統合した事業の記載方法をプラスのイメージとなるよう工夫してはどうか？

【事務局】

委員の意見を参考にもう少し判りやすい表現方法を検討する。

【委 員】

事業の中に「LGBT」や性の多様性に関する事業がない。今後学校現場でも重要となる問題だと思う。懇談会での議論があらたな事業に結びつくようなことはあるのか？

会議経過及び会議結果

【事務局】

ご指摘のとおり事業として、実施しているものはないが、各種研修会等で問題の周知・啓発に努めている。また、現在実施中の協働提案事業で、取り組むべき課題・利用者ニーズ等を掌握、整理している段階である。事業として取り組むこととなった際には懇談会にお知らせしたい。

【委員】

・「インターネット監視事業」について、重要な事業であると思うが今後市としてどのように取り組んでゆくのか？

・事業概要に「県内の同和問題に関する差別」とあるが、名誉棄損・誹謗中傷等の問題も関わってくると思う。対象はより広いものではないか？表現方法を検討しては？

【事務局】

この事業については、県内市町が当番制で取り組んでいるもので、今後も県内市町と連携し県全体として対応してゆく。また、施策の方針は「個人のプライバシーや名誉についての正しい理解と認識を深める。」としていることから事業概要の表現を変更する。

議題（３）「平成２９年度高松市人権に関する市民意識調査」に係る調査票について

事務局より提案趣旨及び資料内容説明

委員からの質問・意見

【委員】

「人権擁護委員制度」についての設問があるのは有効であるが注釈文中の「２ 啓発・広報活動」に「小学校における人権標語コンテスト」を追加してもらいたい。

【事務局】

委員の意見を参考に追加する。

【委員】

設問中に数か所「しょうがいしゃ」とあるが、標記が「障害者」「障がい者」の２種ある。漢字標記は国の法律等に規定されたものと解釈してよいか？

【事務局】

ご指摘のとおり。ひらがな標記は高松市の地方自治体ごとの規定により使用している。

【委員】

・前回調査では対象年齢を「２０歳以上」としていたものが、今回「１８歳以上」となった。設問年齢層を「１９歳以下」「２０歳以上」とすることで、今までデータとしてなかった新たな世代の考え方を確認できると思う。

・対象年齢を「１８歳以上」とした場合、現役高校生・大学生も対象となると思うが、その中には住所を置いたまま市外で生活している方もおられる。その方々にも回答いただけるような工夫が必要ではないか。

会議経過及び会議結果

【事務局】

委員の意見を参考により正確な調査結果を得られるよう検討する。

【委員】

設問中に「ハンセン病患者・回復者」とあるが、現在の大島青松園の利用者は「回復者」のみで「患者」はいない。他の療養所も同様である。また、新規患者の発生も稀であることから、「ハンセン病回復者」と標記してもよいのではないか？

【事務局】

委員の意見を参考に、標記を検討する。

【委員】

・設問、注釈中にある「LGBT」について、国の法整備はどこまで進んでいるのか？

・PTA 活動において子供たちにも性同一性障害の問題は起こっており、大人がそのことをきちんと認識する必要があると感じている。もっと啓蒙していかねばと思う。

・性の多様性は広がっており「LGBT」の表現でよいかどうか？

・NPO で「LGBT」に関する活動をしているが、性同一障害については国の法整備が進んでいるにも関わらず、社会全体の理解は進んでいない。「LGBT」という言葉が社会に認識される必要があると思う。

【事務局】

「LGBT」に関する法整備については審議中のものはあるが成立はしていない。表現方法については委員の皆様の意見を参考に標記を検討する。

議題 その他

その他特になし